

財務報告

経営成績

当社グループでは、2年目に入った中期経営計画「共創136計画」に基づき、引き続き各種施策への取り組みを進めてきました。

当連結会計年度(以下、「当期」という)は、新型コロナウイルス感染拡大の影響があったものの、不動産業において、なんばスカイオが通年で寄与したことやマンション販売が増加したこと等により、営業収益は2,280億15百万円(前期比0.3%増)となりました。また、前期に住宅開発事業等の見直しに伴う販売用不動産評価損を計上した反動等により、営業利益は352億23百万円(前期比27.0%増)、経常利益は316億77百万円(前期比32.5%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は208億11百万円(前期比59.8%増)となりました。

なお、「共創136計画」では、「営業利益」、「有利子負債残高/EBITDA倍率」を重要な経営指標として位置づけています。当期末における各指標の進捗状況は以下のとおりとなりました。

「共創136計画」の経営指標の進捗状況

	前期	当期
営業利益 ^{*1}	287億円	361億円
有利子負債残高/EBITDA ^{*2} 倍率	8.5倍	7.2倍

※1 営業利益+受取配当金

※2 営業利益+受取配当金+減価償却費

財政状態

資産の部

当期末における資産合計は、9,250億58百万円となり、前期末に比べ66億72百万円増加しました。これは主に、有価証券の減少等により流動資産その他が58億3百万円減少した一方で、「難波御堂筋センタービル」の取得等により有形固定資産が141億39百万円増加したことによるものです。

負債の部

当期末における負債合計は、6,690億54百万円となり、前期末に比べ77億69百万円減少しました。これは主に、退職給付に係る負債が20億96百万円増加した一方で、有利子負債残高が106億99百万円減少したことによるものです。

純資産の部

当期末における純資産合計は、2,560億3百万円となり、前期末に比べ144億42百万円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益208億11百万円、剰余金の配当34億円によるものです。

この結果、自己資本比率は26.4%(前期末は25.1%)となりました。

キャッシュ・フローの状況

当期末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は、前期末に比べ48億33百万円減少し、170億30百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は589億35百万円(前期は387億29百万円の獲得)となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益305億27百万円のほか、減価償却費287億86百万円等によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は489億15百万円(前期は452億19百万円の使用)となりました。これは主に、固定資産の取得による支出559億81百万円のほか、工事負担金等受入による収入60億47百万円等によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は148億53百万円(前期は86億32百万円の獲得)となりました。これは主に、長期借入れによる収入215億55百万円のほか、長期借入金の返済による支出303億54百万円等によるものです。

担当役員より

新型コロナウイルス感染拡大に対して、コスト削減等に取り組み、財務健全性の維持・強化に努めていきます

上席執行役員
大塚 貴裕



2019年度は、前年に開業した「なんばスカイオ」が通年で寄与したことや、マンション販売が増加したことにより増収となりました。また利益面でも、前期に住宅開発事業等の見直しに伴う販売用不動産評価損を計上した反動もあり、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けつつも、過去最高益を計上することができました。こうした結果は、「共創136計画」の基本方針に沿った取り組みが順調に進捗しているものと評価をしています。

財政状態については、2019年度も前年に引き続き、「難波御堂筋センタービル」の取得などの成長投資をはじめ総額479億円の投資を実行しましたが、堅調な業績に支えられ、フリーキャッシュ・フローはプラスを確保しました。これを社債償還や借入金返済に充当した結果、有利子負債残高は、4,679億円(前期比106億円減)となりました。この結果、当社が財務面での経営指標としている「有利子負債残高/EBITDA倍率」は7.2倍となり、「共創136計画」の2020年度数値目標(7.5倍

設備投資などの状況

当期は、479億17百万円の設備投資(無形固定資産を含む)を実施しました。セグメント別の投資額は以下のとおりです。

設備投資などの状況

(単位:百万円)

セグメント	投資額	主な設備投資
運輸業	20,928	安全対策、運転保安度向上および旅客サービス向上等の鉄道関連工事
不動産業	22,682	難波御堂筋センタービル 信託受益権取得等
流通業	2,515	なんばCITY建物・設備改修工事等
レジャー・サービス業	1,650	ポートレース住之江設備更新工事等
建設業	117	-
その他の事業	23	-

以下)を1年前倒しで達成することができました。2019年10月に格付投資情報センター(R&I)からの格付がBBBプラスからAマイナスに格上げとなったことは、これまでのこうした財務体質改善への取り組みの成果と考えています。

新型コロナウイルスについては収束の見通しが立っていませんが、このような状況下における最重要課題であるキャッシュの確保については、資金調達の前倒しや手許資金の積み増しなどに取り組み、すでに一定の目途をつけました。

新型コロナウイルスの影響によって収益が低下する中で利益を確保していくためには、安全・安心に関わる支出は確保しつつ、個々の支出案件の必要性や金額を厳密に精査していく必要があります。こうしたコスト削減の取り組みに加え、収束後の成長戦略への取り組みによる収益力強化や資金調達の多様化などによって、財務健全性の維持・強化に努めていきます。

連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)		前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産			流動負債		
現金及び預金	18,359	17,874	支払手形及び買掛金	20,807	19,877
受取手形及び売掛金	23,188	19,481	短期借入金	67,426	91,526
商品及び製品	15,098	17,167	1年以内償還社債	20,000	10,000
仕掛品	424	555	未払法人税等	2,714	4,712
原材料及び貯蔵品	2,766	2,901	賞与引当金	2,666	2,697
その他	21,103	15,299	完成工事補償引当金	1,188	1,189
貸倒引当金	△84	△58	訴訟損失引当金	2,664	—
流動資産合計	80,856	73,221	その他	60,483	67,864
固定資産			流動負債合計	177,951	197,867
有形固定資産			固定負債		
建物及び構築物(純額)	369,430	367,040	社債	90,000	90,000
機械装置及び運搬具(純額)	26,001	31,939	長期借入金	301,227	271,426
土地	354,823	358,624	繰延税金負債	39,579	39,436
建設仮勘定	35,492	42,935	再評価に係る繰延税金負債	18,766	18,748
その他(純額)	6,674	6,020	退職給付に係る負債	16,873	18,969
有形固定資産合計	792,422	806,561	その他	32,425	32,604
無形固定資産	8,219	10,828	固定負債合計	498,872	471,186
投資その他の資産			負債合計	676,823	669,054
投資有価証券	26,511	23,507	(純資産の部)		
長期貸付金	100	88	株主資本		
退職給付に係る資産	90	642	資本金	72,983	72,983
繰延税金資産	2,983	3,271	資本剰余金	28,105	28,117
その他	8,669	7,399	利益剰余金	91,301	108,690
貸倒引当金	△1,467	△462	自己株式	△160	△350
投資その他の資産合計	36,887	34,446	株主資本合計	192,230	209,440
固定資産合計	837,528	851,836	その他の包括利益累計額		
資産合計	918,385	925,058	その他有価証券評価差額金	7,143	4,465
			繰延ヘッジ損益	—	0
			土地再評価差額金	30,953	30,976
			退職給付に係る調整累計額	529	△468
			その他の包括利益累計額合計	38,625	34,973
			非支配株主持分	10,705	11,590
			純資産合計	241,561	256,003
			負債純資産合計	918,385	925,058

連結損益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自2018年4月1日 至2019年3月31日)	当連結会計年度 (自2019年4月1日 至2020年3月31日)
営業収益	227,424	228,015
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	192,252	185,667
販売費及び一般管理費	7,425	7,124
営業費合計	199,678	192,791
営業利益	27,745	35,223
営業外収益		
受取利息	27	26
受取配当金	956	966
雑収入	450	470
営業外収益合計	1,433	1,462
営業外費用		
支払利息	4,598	4,311
雑支出	682	697
営業外費用合計	5,281	5,009
経常利益	23,898	31,677
特別利益		
工事負担金等受入額	2,985	1,329
受取保険金	1,040	773
固定資産売却益	844	484
その他	512	413
特別利益合計	5,383	3,000
特別損失		
工事負担金等圧縮額	1,226	1,277
固定資産除却損	1,719	849
事業整理損	—	751
減損損失	5,560	403
訴訟損失引当金繰入額	2,664	—
災害による損失	1,243	—
その他	1,344	868
特別損失合計	13,758	4,150
税金等調整前当期純利益	15,522	30,527
法人税、住民税及び事業税	7,932	7,580
法人税等調整額	△5,249	1,127
法人税等合計	2,682	8,708
当期純利益	12,840	21,819
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△183	1,008
親会社株主に帰属する当期純利益	13,023	20,811

連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自2018年4月1日 至2019年3月31日)	当連結会計年度 (自2019年4月1日 至2020年3月31日)
当期純利益	12,840	21,819
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,567	△2,757
繰延ヘッジ損益	—	0
土地再評価差額金	1	—
退職給付に係る調整額	869	△1,031
その他の包括利益合計	△696	△3,788
包括利益	12,143	18,031
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	12,414	17,136
非支配株主に係る包括利益	△270	895

連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日) (単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	72,983	28,105	81,593	△146	182,535
当期変動額					
剰余金の配当			△3,400		△3,400
親会社株主に帰属する当期純利益			13,023		13,023
土地再評価差額金の取崩			85		85
自己株式の取得				△14	△14
自己株式の処分		0		0	0
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		△0			△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△0	9,708	△13	9,694
当期末残高	72,983	28,105	91,301	△160	192,230

	その他の包括利益累計額						
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価 差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	非支配 株主持分	純資産合計
当期首残高	8,638	—	31,037	△354	39,320	10,978	232,835
当期変動額							
剰余金の配当							△3,400
親会社株主に帰属する当期純利益							13,023
土地再評価差額金の取崩							85
自己株式の取得							△14
自己株式の処分							0
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動							△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△1,495	—	△83	883	△695	△273	△968
当期変動額合計	△1,495	—	△83	883	△695	△273	8,726
当期末残高	7,143	—	30,953	529	38,625	10,705	241,561

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日) (単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	72,983	28,105	91,301	△160	192,230
当期変動額					
剰余金の配当			△3,400		△3,400
親会社株主に帰属する当期純利益			20,811		20,811
土地再評価差額金の取崩			△22		△22
自己株式の取得				△190	△190
自己株式の処分		0		0	0
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		12			12
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	12	17,388	△190	17,209
当期末残高	72,983	28,117	108,690	△350	209,440

	その他の包括利益累計額						
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価 差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	非支配 株主持分	純資産合計
当期首残高	7,143	—	30,953	529	38,625	10,705	241,561
当期変動額							
剰余金の配当							△3,400
親会社株主に帰属する当期純利益							20,811
土地再評価差額金の取崩							△22
自己株式の取得							△190
自己株式の処分							0
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動							12
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△2,677	0	22	△997	△3,652	884	△2,767
当期変動額合計	△2,677	0	22	△997	△3,652	884	14,442
当期末残高	4,465	0	30,976	△468	34,973	11,590	256,003

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	15,522	30,527
減価償却費	27,440	28,786
減損損失	5,560	403
のれん償却額	471	401
賞与引当金の増減額(△は減少)	27	30
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,769	81
貸倒引当金の増減額(△は減少)	52	△1,029
訴訟損失引当金の増減額(△は減少)	2,664	—
受取利息及び受取配当金	△983	△992
支払利息	4,598	4,311
固定資産除却損	915	845
工事負担金等圧縮額	1,226	1,277
工事負担金等受入額	△2,985	△1,329
売上債権の増減額(△は増加)	△8,302	5,175
たな卸資産の増減額(△は増加)	3,698	△274
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,091	△432
たな卸資産評価損	6,509	221
未払消費税等の増減額(△は減少)	△3,306	3,938
その他	489	678
小計	54,276	72,621
利息及び配当金の受取額	983	992
利息の支払額	△4,628	△4,313
供託金の預入による支出	—	△2,000
損害賠償金の支払額	—	△2,756
法人税等の支払額	△11,901	△5,609
営業活動によるキャッシュ・フロー	38,729	58,935
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△55,918	△55,981
固定資産の売却による収入	1,233	2,035
工事負担金等受入による収入	10,419	6,047
投資有価証券の取得による支出	△1,169	△1,111
投資有価証券の売却による収入	500	0
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	237	—
その他	△521	94
投資活動によるキャッシュ・フロー	△45,219	△48,915
財務活動によるキャッシュ・フロー		
コマーシャル・ペーパーの純増減額(△は減少)	△6,000	5,000
短期借入金の純増減額(△は減少)	△8,538	3,100
長期借入れによる収入	54,505	21,555
長期借入金の返済による支出	△47,214	△30,354
社債の発行による収入	19,833	9,911
社債の償還による支出	—	△20,000
配当金の支払額	△3,390	△3,393
その他	△562	△672
財務活動によるキャッシュ・フロー	8,632	△14,853
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,143	△4,833
現金及び現金同等物の期首残高	19,721	21,864
現金及び現金同等物の期末残高	21,864	17,030